

ボランティア・市民活動情報誌

COMVO

Communication & Voluntary



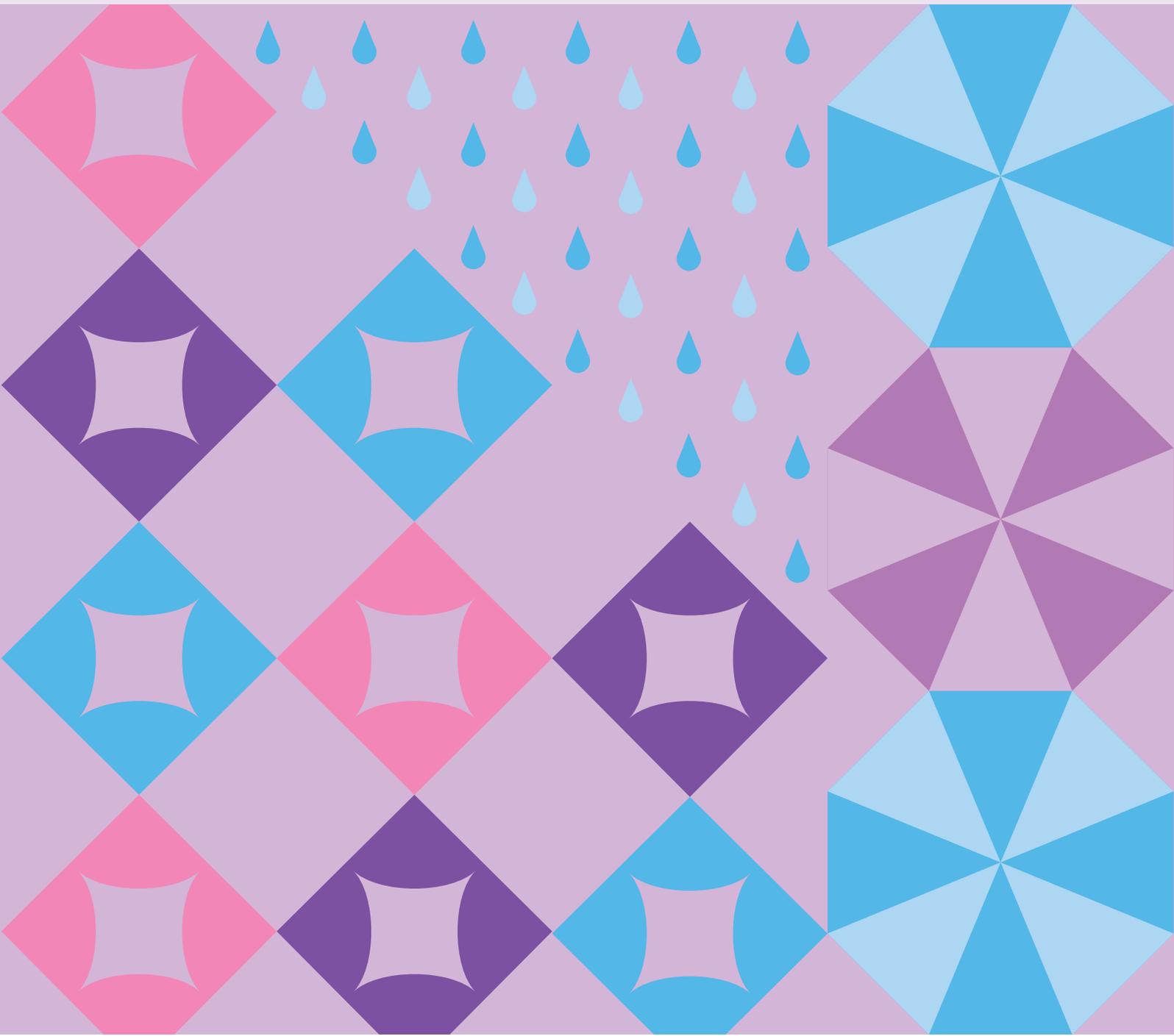
特集

みんなが主役! 地域共生のまちづくり
障がいのある人たちとともに
夢や生きがいを描いて

NPO法人 サンフェイス

- 6 ボラ基金交付団体へ突撃取材
自由に冒険できる遊び場をこどもたちに
- 7 おいでよ! 地域のこどもたち
「あのね」とおしゃべりしたくなる場所

あのねくらぶ





和歌山県のビーチで『SUP(サップ)』を初体験!

地域共生のまちづくり

障がいのある人たちとともに 夢や生きがいを描いて

NPO法人 サンフェイス

『NPO法人サンフェイス』は、放課後等デイサービスなどの事業所を別法人で運営しながら、障がいのある人や子どもとその家族に伴走し、さまざまな支援活動を行っている団体です。

スタッフが「丸」になってめざしているのは、障がいのある人たちが自分の可能性をあきらめずに信じていることができる社会づくり。

『すべての子どもたちに夢は必要だっっ!』をスローガンに掲げながら、熱い想いとパワフルな行動で、明るく楽しく、障がい者福祉に取り組む姿をご紹介します。

**障がいがある人たちに
当たり前前の自由と楽しさを**

『NPO法人サンフェイス』(以下、サンフェイス)は、2002年の設立以来、毎月欠かさず障がいのある人たちと遊びに出かけ、家族だけではできないような体験を楽しむイベントを行っています。

「僕たちが何かを選択する時、それが知らないことでも今までの経験から予想し選ぶ事ができます。障がいのある



人たちは、圧倒的に経験値が少ないにも関わらず、自立という名のもとに社会に出た際には様々な選択に迫られます。だから、いろいろなことへのチャレンジや経験が自立につながる大切な一歩だと思っんです。」

そう話すのは、代表理事の久田亮平さん(以下、久田さん)。障がいのある人たちが無理だとあきらめずに参加できるよう、安全対策はもちろん、文字だけでは理解することが苦手な人たちにも分かりやすいよう、写真や図を取り入れた「しおり」を作るなど、さまざまな問題を克服しながらイベントを継続してきました。

たこ焼きパーティーなど身近なことから始まったプログラムは、今ではパ



遊覧船『ミシガン』に乗って琵琶湖をクルージング



ボランティアと一緒にカリンバ(楽器)づくりに挑戦

ワーアップし、ラフティングやパラセーリングにも出かけるように。これらのイベントは毎回とても人気で、こどもの頃から成人した現在まで参加し続けている人も少なくありません。

また、そんなイベントには、大学生を中心としたボランティアも多く参加。障がいのある人とマンツーマンでペアを組み、一緒に思いっきり楽しめます。そしてイベント後には、久田さんや『サンフェイス』のスタッフが、参加してくれたボランティア一人ひとりの声を聞き、その日感じた疑問について答えることも欠かしません。

「イベントは、障がいのある人にふれることで、障がい者って怖そうという

偏見や垣根を取り払ってもらえる場でもあるんです。あの時の行動は何ですか?」の答えが分かると、普段、街の中でも同じように接することができるようになるでしょ」と、久田さんは笑顔で話します。

経験値や、やりがいを高め 誰もが活躍できる社会に

『サンフェイス』では、イベントの他にも楽しい経験を提供する場として、障がいのある人を対象とした音楽教室(ギター・ドラム、ダンス教室、アートの教



ミュージシャンでもある久田さんとドラムのレッスン

室、柔術教室を運営しています。

「好きなことを習わせたいと思って、教室で断られたり、サポートの先生が必要だから料金が2倍になると言われたり。保護者の方からそんな話を聞いて、「じゃあ、うちでやろう」ということになりました。コミュニケーションが苦手な子が多いので、そんな子たちが言葉以外で自分の感情を表現したいなと思っています。それに、みんなに「すごいね!」と言われたり、自己肯定感を高めたりできる場所って大事だと思います」と、久田さん。

また、別法人で運営するカフェ&グッズショップでは、福祉作業所で働く人たちの技術を生かした商品開発チームを発足。フィッシングやアパレル業界などの企業・ブランドと福祉作業所をつなぎ、手仕事の丁寧さや温かみ、少量生産などの価値が生きる商品の企画・開発に力を注いでいます。さらにカフェ内では、全国の福祉作業所で作られたパンや



温かみのある雑貨が並び、
カフェの販売コーナー

お米、塩などを使用したメニューを提供し、雑貨なども販売。商品として流通することで作り手が仕事としてのやりがいを感じ、さらに収入につながる好循環を生み出しながら、本来の意味での^{*}ノーマライゼーション社会が実現することを願っています。

※高齢者や障がいのある人などが、健常者と同等に当たり前に生活できる社会こそが正常であるという考え方

『きょうだい児』同士が仲良くなれる居場所づくり

『きょうだい児』とは障がいのあるきょうだい(兄弟姉妹)を持つこともちのこと。『サンフェイス』では設立以来、そんな彼ら、彼女たちのサポートにも大きな課題として取り組んできました。

「障がいのある子を持つ親は、同じ境遇の親同士で情報交換や交流を持てる機会が多いですが、『きょうだい児』にはそんな機会がほとんどありません。僕自身も障がいのある妹を持つ二元『きょうだい児』なので分かるんですが、障がいのあるきょうだいのことで壁にぶつかった時、周囲の友達や親には理解されない部分が多く、誰に相談していいかわからない時があるんです。そんな時、自分と同じ境遇の友達がいれば気軽に打ち明けられることができるし、なおかつ、障が



『きょうだいの会』のみんなでデイキャンプ

いのあるきょうだいが利用する事業所がそんな居場所になれば、すごく心強いと思うんです」と、久田さん。

そんな思いから誕生した『きょうだいの会』では、未就学から小・中学生の『きょうだい児』が、みんなで一緒に遊べるアウトドアイベントを隔月で開催。共に楽しみ、助け合いながら、自然なかたちで仲良くなれるように活動を続けてきました。

このイベントを通じて『きょうだい児』たちは同じような悩みを共有したり、障がいへの理解を深めたりしながら成長していきます。また、きょうだいの障がいを「甘え」や「言い訳」にすることから卒業していきます。そして今では、本当のきょうだいのように仲良く

なった『きょうだい児』たちもたくさんいるのだと久田さんは話してくれました。

発達障がいについて「こどもたちに授業で発信」

^{*}2022年の文部科学省の調査では、通常の学級に在籍する小・中学生の8.8%に、学習や行動に困難のある発達障がいの可能性があると発表されています。これは35人学級であれば、クラスに3人ほどの割合になります。

そんなこどもたちがクラスの中で排除されず、共に学んでいけるように、『サンフェイス』では2011年から、小・中・高校への出前授業も行っています。

「例えば、発達障がいのある子の見え

方、聞こえ方などを疑似体験して、どんなことが苦手なのかを知ったり、だったら、みんなでどんな風にしたらいいかを一緒に考えたり。障がいのある子を大切にしよう」という話をするわけではなく、障がいのあるなしに関わらず、相手の気持ちになって考えることの大切さを伝えていきたいと思っています」と、久田さん。

また、発達障がい当事者のあるある話、毎月のイベントの様子などを楽しく演出し、



発達障がいについてクラスみんなで考える

NPO法人サンフェイス

Eメール sunface.group@gmail.com
<http://www.sunface.or.jp/>
YouTube (チャンネル)
🔍『サンフェイスグループ』で検索

YouTubeで発信。多くの人に向け、障がいのある人たちのメッセージを届ける試みも始まっています。

最後にこれからの目標について伺うと、「これまで出会ってきたみんなを裏切らないように活動を続けていくこと」と、久田さんはきっぱりと答えてくれました。

障がいのある人を支援するという視点ではなく、一緒にベストな方法を考えながら。そして「自分たちは、こどもたちが夢を見られる環境をつくられているか?」と、常に原点に立ち戻りながら、『サンフェイス』の活動は続いていきます。

※文部科学省／通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査(令和4年)

ボランティア活動総合補償制度のご案内

ボランティア活動保険

補償概要	<p>ボランティアの方が日本国内における、ボランティア活動中に、</p> <p>①急激かつ偶然な外来の事故によるケガ（傷害補償）</p> <p>②偶然な事故によって他人の生命や身体を害したり、他人の財物を滅失、破損または汚損した場合に、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害（賠償責任補償）</p>		
加入対象	<p>社会福祉協議会で、把握または登録（届出または委嘱等の手続きを経ており）している社会福祉協議会の活動趣旨に準じたボランティア活動を行うボランティア団体、個人</p>		
保険期間	<p>毎年4月1日から翌年3月31日まで</p>		
対象活動	<p>①自発的な意思により他人や社会に貢献することを目的とし、日本国内で取り組まれる活動であること</p> <p>②所属ボランティア活動団体の会則に則り、企画立案された活動や、社会福祉協議会へ届け出たり、社会福祉協議会の委嘱を受けた活動であること</p> <p>③無償の活動であること（交通費、食事代など費用弁償程度の支給は無償の範囲に含みます）</p>		
年間保険料 （1人）	Aプラン	Bプラン	Cプラン
	300円	500円	600円

非営利・有償活動団体保険

（団体・グループで加入）

補償概要	<p>非営利・有償活動中に、</p> <p>①急激かつ偶然な外来の事故によるケガ（傷害補償）</p> <p>②偶然な事故によって他人の生命や身体を害したり、他人の財物を滅失、破損または汚損した場合に、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害（賠償責任補償）</p>	
加入対象	<p>社会福祉協議会や加入要件を満たした、非営利活動を実施する団体・グループ</p>	
保険期間	<p>毎年4月1日から翌年4月1日まで</p>	
対象活動	<p>①福祉・文化・保健衛生・自然環境などの分野における『営利目的ではない社会貢献活動』であること （例）配食サービス・訪問サービス・手話通訳・環境調査など</p> <p>②サービス提供先（利用者）から実費（交通費・食事代・材料費）を超える対価を得ていること</p> <p>③その他、大阪市の社会福祉協議会と保険会社において適当と認められた活動であること</p>	
年間保険料	Aプラン	Bプラン
	<p>加入時期により金額が異なります。 〈Aプラン・Bプラン共通〉 感染症見舞金【オプション】1,870円/人 ※加入時期に関わらず一律</p>	

詳細はパンフレットをご確認ください

大阪市ボランティア・市民活動センターと、各区ボランティア・市民活動センターでご加入いただけます

●お問合せ先

制度運営

大阪市ボランティア・市民活動センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター1F

TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618

取扱代理店

各種損害保険・生命保険取扱 株式会社島本保険事務所

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-3 大阪センタービル2階

TEL.06-6252-4519 FAX.06-6245-4686

障がいのある人もボランティアも みんな楽しんで動物園での一日

DREAM DAY at the ZOO

ドリームデイ・アット・ザ・ズー

3月25日、天王寺動物園で『ドリームデイ・アット・ザ・ズー』が開催されました。この取組みは、動物園の休園日に、障がいのある人とその家族、介助者たちとゆつくり園内を楽しんでもらうことを目的にした招待イベントで、5年ぶりに今年で3回目の開催となりました。

それぞれのペースで、ゆつくりと動物園内をめぐって満喫

イベント当日、天王寺動物園には多くの家族連れをはじめ1509人の招待者が来場。残念ながら小雨の降る天気となりましたが、重度の障がいなどで日頃外出する機会が少ないこともたちも、お母さんの押すバギーに乗りながら、それぞれのペースで動物園内を楽しみました。

今回は、大阪・関西万博の『ミヤクミヤク』をはじめ、森下仁丹株式会社の『仁丹王子』、天王寺動物園の『ゴージャス』のマスケットキャラクターも登場！イベント広場には来場者が集まり、写真撮影に行列ができるほどの大盛り上がり。

また休憩スペースには、大阪市内の事業所・作業所の取組みを紹介するブースが設けられました。その中には事業所内で作成した、かわいい動物たちの絵画作品も展示。多くの人の関心を集めるとともに、作成メンバーたち

が、展示された自分の作品を見て喜ぶ姿も見られました。

温かく見守りながら職員とボランティアがサポート

一方、招待者を迎える動物園には、職員のほかに60人以上のボランティアが参加。園内の案内や誘導、手話通訳、パフォーマンス披露など、招待者の皆さんが安全に楽しく過ごせるようサポートを行いました。入場ゲートで温かく出迎えたり、各エリアでは積極的にコミュニケーションを図ったり。活動の間にはボランティア同士も情報を共有しあい、イベントに関わる人々がつながりを広げる機会になりました。

また、飼育員がクイズ形式で動物の特徴や飼育の工夫を説明する『動物がイド』では、解説を手話で通訳。手話を担当したボランティアは、「動物のいろんなエピソードを知りながら、聞こえない人も聞こえる人も共に楽しい時間を過ごすことができました」と、感謝の言葉を頂きました」と話してくれました。

イベント終了後には、天王寺動物園の向井猛園長から、ボランティアの皆さんに無事開催できたことへの感謝の言葉が。そして「来年も皆さんが楽しめるイベントにしたいと思います」と、楽しかった1日を締めくくりました。



ボランティアスタッフの皆さんで記念撮影

阿倍野区社会福祉協議会

TEL:06-6628-3434

Eメール abenovc@abenokushakyo.jp

天王寺区社会福祉協議会

TEL:06-6774-3377

Eメール chiiki-s@yuuai.org



ゆつくりと楽しみながら動物園めぐり

令和5年度大阪市ボランティア活動振興基金 居場所づくり支援交付団体へ突撃取材

※福祉課題、地域課題のために開設した居場所の、継続的な運営を目的とした事業の支援

自由に冒険できる遊び場をいどもたちに

プレーパークたねっこ

『プレーパーク』とは、火・水・土などの自然素材や廃材を使い、こどもたちが五感を活かして自由に「あそび」を生み出せる『冒険遊び場』のこと。プレーパークたねっこは、子育て真っ最中のママたちが、西区・浪速区での常設プレーパーク開設を目標に、公園や地域イベントで出張プレーパークを開催しています。

いとSNSで西区在住のママたちに投げかけてみたら、現在の運営メンバーが集まってきてくれたんです」と、代表の大藤有賀さん。

プレーパークの活動は全国で広がっていますが、大阪府下には15カ所程しかありません。都会の真ん中でも、こどもたちが思いっきり遊べる場所を作りたい

プレーパークは、こどもたちが何をしても、何もなくてもいい場所。大人も安全に配慮しながら、こどもの行動を制止せずに見守ります。

「夢中で遊びながら、気が付けば、知らない子も一緒になってダンボールで大きな何かを作っていたり。そういう姿は普通の公園では見られないと思うんです」と、メンバーの中根文さん、亀井麻希さんも顔を合わせた話します。

出張プレーパークは今後も意欲的に開催予定。こどもたちのいきいきとした笑顔を楽しみに、遊びに出かけてみませんか？



何をつくっているのかな？こどもたちの想像力は無限大！

プレーパークたねっこ

Eメール osaka.playpark.pj@gmail.com

Instagram [playpark2021](https://www.instagram.com/playpark2021)

[【情報マーケットP9①にボランティア情報を掲載】](#)



パソコンにふれて、学んで 自分の中の楽しみを広げよう

パソコン苦楽部(港区)

『パソコン苦楽部』は、パソコンを使い始めた人、パソコンで色々なことをやってみたい人たちが気軽に集まれる場。2016年に誕生し、現在は代表の平澤洋征さん(以下、平澤さん)たち3人のボランティアスタッフが、さまざまにパソコン操作を教えています。

参加メンバーは60〜80代の人たちが中心。コロナ禍前に比べると人数は少なくなりましたが、マイ・パソコン持参で、エクセルやワード、写真編集

などを学びに訪れ、それぞれにパソコンのスキルアップを進めています。また、ここでスマートフォンの便利さを教えてもらい、操作をマスターした人もいます。

「最初は皆さん、スマートフォンを敬遠されていましたが、今では孫とLINEをしたり、写真に凝ったりとおおいに活用されています。ここに来られる人たちは探求心が旺盛で、デジタル社会に順応しながら、いきいきと過ごされていますよ」と、平澤さん。分からないことを調べたり、スタッフ同士で教え合ったり、自分たちにとって重要な学びの場になっていると話します。



四苦八苦しながらも、パソコンに夢中

頭と指先を使うパソコンは認知症予防にもなり、シニア世代にこそおすすめ、と平澤さん。ボランティアスタッフとして活躍してくれる仲間も募集中です。

港区ボランティア・市民活動センター

TEL:06-6575-1212

Eメール minato@minatoku-shakyo.com



社会全体でこどもを支える仕組み

大阪市社会福祉協議会 地域こども支援ネットワーク事業の取組み

こどもに関する課題を「他人事」ではなく、一人ひとりが「我が事」と捉え、地域住民と社協、地域団体、民生委員・児童委員、社会福祉施設、企業・団体などが一体となって、こどもの食や学習の支援をはじめ、こどもたちが身近に集うことができる居場所づくりを推進しています。

◇活動者や応援者のネットワークづくり

●地域こども支援団体連絡会

開催日：偶数月の第3金曜日 午前10時～正午

●区域のネットワークとの連携

◇企業や社会福祉施設の協力による物資提供

●こども支援団体への物資提供の調整

◇企業等の協力による、交流イベントや体験活動

企業等の協力により、様々な世代とふれあう交流イベントや、企業の強みを活かした職業体験活動などを実施し、こどもの文化的な活動や将来の夢や目標を持つことを応援しています。

◇活動拠点や活動者の拡充

●こどもの居場所づくりサポート講座

●こども支援活動に関する相談支援

◇こども支援活動の啓発や広報活動

●啓発シンポジウムの開催

●ホームページでの情報発信

ホームページは
こちらから



その日の過ごし方は、こどもたちが自分で選択

「あのおね」とおしゃべりしたくなる場所
「あのおね」では、誰でも参加できるこども食堂の活動に加え、個別の支援も大切に「あのおねくらぶ」を運営しています。土曜日のお昼前、市営住宅の一室にある『あのおねくらぶ』にやってきたこどもたちは、手を洗うと自然な流れで「ごはんづくりに参加し始めました。」

今日のメニューはちらしずし。満面の笑みで「スクランブルエッグがいい」と言うこどもの意見で、今日のメニューはちらしずし。満面の笑みで「スクランブルエッグがいい」と言うこどもの意見で、

「自分が何をしたいのか、したくないのか。こどもたちが選択できる場所にしていきたいんです」と、永田さん。そのためにも今後は、いろんな職種・立場の人とつながり、それぞれの良さや強みを生かしながら、こどもたちに関わっていきたくて話してくれました。

一般社団法人あのおね
Eメール anone.kodomo@gmail.com

おいですよ!

地域のこどもたち

こども食堂や学習支援など、大阪市内各地で広がる「こどもの居場所づくり」の取組みをご紹介します。

「あのおね」とおしゃべりしたくなる場所

「あのおねくらぶ」(旭区)



OCVACスタッフに気軽に声をおかけください

OCVAC

(大阪市ボランティア・市民活動センター)

ってどんなところ?

OCVACフロアマップ



印刷機や拡大コピー機など、市民活動に必要な機材を利用できます(有料)

作業スペース

ボランティア・市民活動に関する相談ができます

相談窓口

会議や定例会などで利用できます(定員10人/要予約)

会議スペース

イベント情報・ボランティア募集情報、団体の紹介や助成金情報などさまざまなチラシを配架しています

広報物ラック



おくはつくん

ボランティアのぽけっと

ミニチラシで、ボランティア情報が探せます

入口

大阪市ボランティア・市民活動センター
 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター1階
 TEL.06-6765-4041 / FAX.06-6765-5618
 E-mail:ocvac@osaka-sishakyo.jp
 《アクセス》 地下鉄谷町線「谷町九丁目」駅
 近鉄線「大阪上本町」駅 11番出口から東へ200m



スペース利用の様子(くつろぎステーションつばさ)



大阪市ボランティア・市民活動センターの開所時間

《利用時間》月～金 / 午前9時～午後7時
 土 / 午前9時～午後5時30分

休館日

日曜・祝日・国民の休日及び年末年始(12月29日～1月3日)

ボランティア募集、イベント・セミナー情報いっぱい!

情報マーケット

Information Market

「参加してみたい!」と思ったり、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接「コンボを見て」とお問い合わせください。



OCVAC のウェブサイトから
団体ホームページに簡単アクセス!

- 1 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
- 2 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
- 3 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
- 4 団体ホームページにアクセスできます!



★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

③ 南方駅前ゴミ拾いに参加しませんか?

淀川コネクトクラブ

<https://yodocone.jimdofree.com/>



週末の駅前をゴミ拾いしております。
町がキレイになり、朝活や交流の場にもなります!

日 程 毎週土曜日・日曜日8:00~9:00

場 所 阪急南方駅(淀川区西中島3-17-3)

人数・条件 どなたでも

申込方法 Eメール

問合せ▶ Eメール k.rametoku57@gmail.com

① 大阪市西区・浪速区でのプレーパークボランティア募集

プレーパークたねっこ

<https://www.instagram.com/playpark2021/>



プレーパークは子どもがのびのびと遊べる居場所。
一緒に遊び場づくりをしませんか?

日 程 6/29(土)9:00~16:00 ほか、2ヶ月に1回程度開催
その他、開催準備や定例会なども月2回程度開催

場 所 主に松島公園(西区千代崎1丁目)
地下鉄「西長堀」駅から徒歩7分
ほか、西区・浪速区内の公園

人数・条件 どなたでも

申込方法 Eメール

問合せ▶ Eメール osaka.playpark.pj@gmail.com

④ あさひ育み学び舎(学習・自立支援・居場所)ほっとルーム(居場所)でのボランティア募集

大阪市旭区社会福祉協議会

<https://sansan-asahi.or.jp/>



中高校生を対象にしたあさひ育み学び舎では、生徒が安心して一緒に過ごせる居場所のボランティアを募集します。

日 程 毎週土曜日14:00~17:00(活動日数は応相談)

場 所 旭区在宅サービスセンター(旭区高殿6-16-1)
地下鉄「関目高殿」駅から徒歩10分

人数・条件 どなたでも 定員あり 交通費あり(上限あり)
※詳細はお問合せください

申込方法 電話

問合せ▶ TEL/06-6957-2200

② ゆるん祭 親子で楽しめるワークショップのボランティア募集

特定非営利活動法人ゆるん

<https://you-run.info/>



《子どもも大人も楽しめるゆるん祭》

こちらのゆるん祭のお手伝いして下さる方を募集しています。

内容:お祭りの準備やブースの見守り募集。

NPO活動、社会貢献活動に興味のある方、何かにチャレンジしたい人等、是非ご応募お待ちしております。

日 程 11/10(日) 10:00~17:00

場 所 ドーンセンター 1階パフォーマンススペース(中央区大手前1-3-49)
地下鉄・京阪「天満橋」駅

人数・条件 どなたでも(先着順) 食事あり:軽食支給 交通費あり:1,000円

申込方法 HP

問合せ▶ Eメール you.run.staff@gmail.com

ボランティア活動を 長く続ける

5つのポイント

充実したボランティア活動を、長く続けていくためには次の5つのポイントを参考に、自分にあった活動を探しましょう。

Point 1 興味や関心がある事からはじめよう!

Point 2 活動は余裕をもって、無理をしない!

Point 3 約束やルールは必ず守ろう!

Point 4 相手や関係者の立場を尊重しよう!

Point 5 万が一に備えてボランティア活動保険に入ろう!



⑨ 第5回 あったか演劇甲子園大会

NPO法人あったか演劇研究会

http://www.attakafamily.com

各チームが社会の課題をテーマにした寸劇を上演します。観客の皆様が審査員です。未来に向けて夢の持てる社会づくりについて一緒に考えてみませんか? あったか演劇研究会による劇もお楽しみに!

日程 予選会:6/23(日)
本選会:7/27(土) 各10:00~16:00(予定)
場所 予選会:伊丹市スワンホール 多目的ホール(兵庫県伊丹市昆陽池2-1)
本選会:高槻市立生涯学習センター 多目的ホール(高槻市桃園町2-1)

人数・条件 どなたでも 定員:200人
予選会:700円 本選会:1,000円
※小学生まで無料

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ▶ TEL/06-6394-5137 FAX/06-6394-5111
Eメール mail@attakafamily.com

⑤ 親子で取り組む 大切にしたい!ココロとカラダのトリセツ2

つむぎ

https://tsumugi-mirai.com/

子どもたちが自分の心と体を大切にできるよう、学齢期から家庭で出来る取り組みや、性に関することの伝え方について、一緒に学んでみませんか?

日程 6/20(木) 10:30~12:00(受付:10:00~)

場所 城東区民センター4階 大会議室(城東区中央3-5-45)
地下鉄「蒲生四丁目」駅1・7番出口から徒歩約5分
京阪「野江」駅から徒歩約8分

人数・条件 どなたでも 定員:80人(当日先着順) 参加費:無料

申込方法 申込不要

問合せ▶ Eメール tsumugi.mirai@gmail.com

⑩ 障がい者のためのパソコンボランティア 令和6年度 大阪府障がい者ITサポーター養成研修会 受講者募集!!

大阪府ITステーション

http://itsapoot.jp

障がいのある人がパソコンを学習する際に、そのサポートができるアクセシビリティの知識を学んでみませんか?

日程 第1回 6/5(水)・6(木) 各日9:30~16:30
第2回 8/14(水)・15(木) 各日10:00~17:00
※以降の開催日程についてはHPをご覧ください。
場所 第1回:大阪府ITステーション(大阪市天王寺区上汐4-4-1)
地下鉄「谷町九丁目」駅から南へ約600m 地下鉄「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅から北へ約600m 近鉄「大板上本町」駅から南西へ約800m
第2回:国際障害者交流センタービッグ・アイ(堺市南区茶山台1-8-1)
泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅から徒歩3分

人数・条件 大阪府内在住・在勤・在学中、大阪府ITステーションのボランティアとして協力いただける18歳以上の方(申込時年齢、高校生不可)。
2日間研修を全て受講できる方で、パソコン及びソフトの基本的な操作を説明できる方。
定員:第1回 6人、第2回 8人 参加費:無料

申込方法 Eメール 締切:第1回 5/22(水)、第2回 7/31(水)

問合せ▶ TEL/06-6776-1241
Eメール sapoken@itsapoot.jp

⑥ ビューティーケア・ボランティア養成基礎講習会|受講生募集

大阪府ビューティーケア赤十字奉仕団

高齢者支援活動・福祉・災害時の支援のほか、福祉施設などを訪問。手・顔へのケアと簡単なメイクなどを学びます。会話を楽しみながら、心のケアにも繋がるビューティーケアのトレーニングを学びます。

日程 7/8(月) 10:00~16:30

場所 赤十字社大阪府支部会館(中央区大手前2-1-7 3階)

人数・条件 どなたでも 定員:20人(先着順)
参加費:3,000円(テキスト代)

申込方法 郵送(はがき) 締切:6/15(土)
宛先 〒572-0832 寝屋川市本町13-4
「ビューティーケア赤十字奉仕団」山田 法子 宛
※郵便番号・住所・氏名(フリガナ)・電話番号をご記入ください

問合せ▶ TEL/080-6156-8884(SMSメールにて)

⑪ 子どもの権利条約批准30年~活動スタッフ養成講座part1~

公益社団法人子ども情報研究センター

http://www.kojoken.jp/

子どもの権利を学び、一緒に活動しませんか? 第一弾は「ファミリー子育て何でもダイヤル電話相談員」と「一時保育担い手」育成講座です!

日程 5/26(日)・6/2(日)・6/9(日)
いずれも13時~16時(途中休憩あり)

場所 HRCビル(港区波除4-1-37)
JR「弁天町」駅北口から徒歩10分
地下鉄「弁天町」駅4番出口から徒歩15分

人数・条件 どなたでも
参加費:5,000円(全3日受講)、2,000円(1日単発)

申込方法 Eメール・HP 締切:お問合せください

問合せ▶ TEL/06-4708-7087
Eメール info@kojoken.jp

⑦ 不登校について情報をシェアする会を開きます

ひとりとリート

https://1retreat.net/

不登校期間中に無理なく毎日出来た「家庭の充電資料」を作りました。是非お越しください。ハーブティーをご用意してお待ちしています。

日程 6/22(土) 13:00~15:00

場所 あべのクオレ1階 アサイコンピュータサービス レンタルスペース
(阿倍野区阿倍野筋3-12-2-109)
地下鉄「阿倍野」駅7番出口から徒歩5分
阪堺線「阿倍野」駅から徒歩5分

人数・条件 どなたでも 定員:5人(先着順) 参加費:無料

申込方法 TEL・Eメール・HP

問合せ▶ TEL/080-1752-9461
Eメール mori.mari@1retreat.net

⑫ 囲碁同好会

大成小学校囲碁クラブ

囲碁を何局でも好きなだけ対戦出来ます。初心者大歓迎。月1回プロ棋士の講座及び対戦も可能(1局のみ)。

日程 毎週土曜日18:00~21:00

場所 大阪市立大成小学校内 多目的室(東成区大今里西3-2-62)
地下鉄「今里」駅から徒歩6~8分

人数・条件 どなたでも
参加費:月額1,000円(入会金なし) ※学生無料

申込方法 申込不要

問合せ▶ Eメール htakondo@yahoo.co.jp
※メールの受信拒否を解除し、こちらからの受信を可能にしておいてください。

⑧ 第4期 外国人介護スタッフ応援隊養成講座

介護保険市民オンブズマン機構大阪

https://o-netnp.o-site

介護現場で働いている外国人スタッフを支える活動です。困りごとを聞いて施設に伝えたり日本語学習支援を行ったりしています。

日程 6/22(土)・29(土)、7/6(土) 各日10:30~16:30

場所 PLP会館 4階 小会議室(北区天神橋3-9-27)
JR「天満」駅から徒歩5分
地下鉄「扇町」駅から徒歩5分
※オンライン(ZOOM)での受講も可

人数・条件 大学生以上 定員:30人 参加費:4,000円

申込方法 電話・FAX・Eメール・郵便・HP・来所 締切:6/17(月)

問合せ▶ 〒530-0041 北区天神橋3-9-27 PLP会館
TEL/06-6949-8192 FAX/06-6949-9296
Eメール o-netnp@train.ocn.ne.jp

17 2024年度 ニッセイ財団 高齢社会助成「実践的研究助成」

公益財団法人 日本生命財団

http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp

「共に生きる地域コミュニティづくり」を基本テーマに、下記のとおり募集を行います。

助成対象 研究者(助手も対象)または実践家(研究者であり実践家である者も含む)
※研究組織に複数名の研究者と実践家の双方参加が必要
※実践家とは「社会福祉士、介護福祉士、看護師、理学療法士、保健師、臨床心理士」等の現場の職員

助成テーマ 4つの分野から選択※詳細は募集要項参照

助成金額 2年助成と1年助成の2種類の研究助成があります。

1. 実践的研究課題助成 2年最大400万円(1年最大200万円)

2. 若手実践的研究課題助成 1年最大100万円

応募方法 HPから申請書をダウンロードの上作成。郵送受付のみ。

URL: https://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kourei/02.html

6/14(金)※当日消印有効 郵送のみ

応募締切 第36回ニッセイ財団シンポジウム・第30回ニッセイ財団ワークショップ 記録者の希望者無料配布を実施中(先着500名様)

詳細は下記URLよりご確認ください URL: https://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kourei/03.html

問合せ▶ 日本生命財団 高齢社会助成事務局
〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル4F
TEL/06-6204-4013(10:00~17:00)
Eメール kourei-fukusi@nihonseimei-zaidan.or.jp

18 ボランティア活動資金助成事業(令和6年度)

公益財団法人 みずほ教育福祉財団

http://www.mizuho-ewf.or.jp

少子高齢化が進化するなか、共に生きる地域づくりにつながるボランティア活動(特に、高齢者や障がい児者の支援に係るボランティア活動、及び、子ども食堂等の居場所づくりや運営に係るボランティア活動)に対して、必要となる資金を助成します。

助成対象 ①5人以上で活動し、かつ営利を目的としないグループ・団体(法人格の有無は問わない)
②グループ・団体結成以来の活動実績:満2年以上(令和6年3月末基準)
③過去2年以内(令和4年度以降)に当財団から助成を受けていないこと
④グループ・団体の組織・運営に関する規約(会則)、年度毎の活動報告書類及び会計報告書類が整備されていること(助成決定後、申請団体名義の預貯金口座が必要となります)

助成金額 区分A「高齢者、障がい児者の支援に係るボランティア活動」:5~15万円

区分B「子ども食堂等の居場所づくりや運営に係るボランティア活動」:5~20万円

※詳細はHP参照

応募方法 HPから申請書をダウンロードして作成のうえ、都道府県・指定都市または市区町村社会福祉協議会の推薦を受け郵送 ※詳細はHPを参照

応募締切 6/14(金)必着

問合せ▶ 公益財団法人みずほ教育福祉財団 福祉事業部
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1 Eメール fjp36105@nifty.com

19 第22回「配食用小型電気自動車寄贈事業」

公益財団法人 みずほ教育福祉財団

http://www.mizuho-ewf.or.jp

高齢者を対象とした福祉活動を支援するため、高齢者向けに配食サービスを行っている民間団体に対し、配食用小型電気自動車(愛称:みずほ号)の寄贈を行います。

寄贈内容 配食用小型電気自動車1台 事業規模:13台(13団体)(予定)

助成対象 ①高齢者を主な対象とし、原則として、1年以上継続して、週1回以上、調理・家庭への配食・見守り活動を一貫して行っていること
②非営利の民間団体(法人を含む)であること
※配食事業がすべて行政からの受託である場合は、当該部門の営業利益が黒字ではないこと
③配食用の車両が不足しており、本寄贈によって円滑化が見込まれること
④本寄贈を過去6年以内(令和元年度以降)に受けていないこと

応募方法 1. 所定の申請書に必要事項を記入の上、都道府県・指定都市または市区町村社会福祉協議会、あるいは全国食支援活動協力会いずれかの推薦が必要
2. 推薦団体経由または直接、申請書類一式を送付
※詳細はHP参照

応募締切 6/14(金)必着

問合せ▶ 公益財団法人みずほ教育福祉財団 福祉事業部
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1 Eメール fjp36105@nifty.com

20 第44回 緑の都市賞

公益財団法人 都市緑化機構

https://urbangreen.or.jp

緑の都市賞は、明日の緑豊かな都市づくり・まちづくりを目指し、緑の保全・創出活動に卓越した成果をあげている市民活動団体、企業および公共団体を顕彰し、これにより広く都市の緑化推進、緑の保全による快適で地球にやさしい生活環境を創出することを目的とし、1981年に創設されました。第44回を数える歴史あるこの賞に今年輝くのは… 皆様、奮ってご応募ください。

応募要件 緑の市民協働部門:主に市民団体 ※行政や民間事業者との協働を含む
緑の事業活動部門:主に民間事業者 ※市民団体や行政との協働を含む
緑のまちづくり部門:主に市区町村 ※市民団体や民間事業者との協働を含む

応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入の上、緑化や緑の保全の成果が確認・比較できる写真(15~20枚)及び、その他の必要な書類を添えて送付(※詳細はHP参照)

応募締切 6/30(日)

問合せ▶ 公益財団法人 都市緑化機構内「緑の都市賞」事務局
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階
TEL/03-5216-7191 FAX/03-5216-7195

Eメール midori.info@urbangreen.or.jp

13 「地域×子育て支援」活動の始め方・広げ方

クレオ大阪子育て館

https://creo-osaka.or.jp/north

地域活動の実践例を学ぶとともに、活動を広げるための「伝える力」を磨きます。発表会や交流会で参加者同士のネットワーク作りも支援します。

日時 6/26(水)、7/3(水)・10(水)・17(水)各日10:15~12:15

場所 クレオ大阪子育て館(北区天神橋6-4-20 7階)

地下鉄「天神橋筋六丁目」3番出口から連絡

JR「天満」駅から北へ徒歩10分

人数・条件 地域活動、子育て支援等に関心のある女性 定員:25人(多数抽選)

参加費:無料 ※3ヵ月~小学3年生の一時保育あり(定員あり)

要事前申込6/16(日)締切

申込方法 電話・FAX・HP・来所 締切:6/16(日)

問合せ▶ TEL/06-6354-0106 FAX/06-6354-0277
Eメール info@osaka-kosodate.net

14 「ふれあいバザーinフラムテラス」開催のお知らせ

Daigasグループ“小さな灯”運動/大阪ガスネットワーク(株)

https://network.osakagas.co.jp/effort/index.html

この「ふれあいバザー」は、障がい者の就労支援・社会参加を目的とし、焼き菓子や雑貨商品など販売中!ぜひご来場ください。

日時 5/23(木)・30(木)・6/6(木)・27(木) 11:30~13:30

場所 大阪ガス 本社ガスピル 南館1階 フラムテラス内

(中央区平野町4-1-2)

地下鉄「淀屋橋」駅13番出口から南へ徒歩3分

人数・条件 どなたでも

申込方法 申込不要

問合せ▶ TEL/06-6205-4545
Eメール tomoshibi@osakagas.co.jp

15 宇宙のおはなしと望遠鏡講座「火星、冥王星、小惑星を学ぼう」

関西で星を学ぶ会

https://sites.google.com/view/kansaideshoshi/

惑星探査が盛んな火星、惑星から外された冥王星、火星と木星の間にある小惑星を学びます。

日時 6/22(土) 19:00~21:00

場所 大阪市立総合生涯学習センター(北区梅田1-2-500 大阪駅前第2ビル 5階)

地下鉄「梅田」「東梅田」「西梅田」駅

JR「大阪」「北新地」駅

人数・条件 高校生以上どなたでも

定員:20人(多数抽選) 参加費:無料

申込方法 HP 締切:6/20(木) 17:00

問合せ▶ TEL/090-8121-6929
Eメール k337yjunamg@gmail.com

16 「第54回毎日社会福祉顕彰」の贈呈先募集

公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団

https://www.mainichi.co.jp/osaka_shakaijigyo/

全国の社会福祉関係の個人や団体から3件を表彰します

助成対象 (学術)社会福祉の向上に顕著な影響を与えた
(技術)児童、高齢者、心身障害者などの分野で独創的なスキル、プロセスで効果をあげた

(創意)施設、機器の改善、充実または活動実務で創意工夫や新技術導入で功績をあげた

(奉仕)長年にわたり国際、地域福祉で奉仕活動を続け、将来も継続する強い意志を持つ

(勤勉)社会福祉施設に30年以上勤務し、顕著な成果をあげた

(その他)新しい分野を開き、時代のニーズに応える福祉活動をしている

助成内容 受賞者1件につき100万円と賞牌

推薦方法 推薦用紙をダウンロードして記入し、必要資料を添付のうえ郵送。自薦無効

応募締切 5/31(金) 必着

問合せ▶ 公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団
〒530-8251 北区梅田3-4-5
TEL/06-6346-1180 Eメール mainichi-osj@sirius.ocn.ne.jp

NPO団体 リアルレポート

活発に市民活動に取り組むNPO団体からのメッセージをリアルタイムでお届けします。

アートで淀川区十三を盛り上げたい!

NPO法人 淀川アートネット

私たち『NPO法人 淀川アートネット』は、十三の街をアートで盛り上げるために、2004年に設立した団体です。大阪市淀川区十三を中心に文化活動を応援し、人やお店をつなぐ活動をしています。例えば『撮っておき十三』というプロジェクトでは、再開発で変わりゆく十三の街並みを写真に記録し保存する活動を行っています。今までに、十三地区の街並みや淀川河川敷などを撮影しました。また写真の展示会を行い発表の場を設けることで、作品を観て頂く機会を創出しています。

そして私たちが一番力を入れているプロジェクトは『十三アートフェス』という街回遊型のアートイベントです。このフェスでは、作家さんが作った作品を街の店舗や施設に展示したり、様々な場所でアートイベントを開催しています。去年の開催では、作家・団体共に60以上が参加し、本当に多くの方がアートに関

心を持っていると感じました。今年も2024年11月23日(土)~12月1日(日)の開催に向けて、企画を進めているところです。

『アート』と聞くとちょっとハードルが高く感じるかもしれませんが、私たちの考える『アート』とは、誰しにも開かれた表現活動と捉えています。ぜひ機会があれば、私たちの活動に触れて頂ければ幸いです。



昨年の『十三アートフェス』では、トークイベントも大盛況!

<https://yodogawaartnet.jimdofree.com/>



23 2024年度(第50回)丸紅基金

社会福祉法人 丸紅基金

<https://www.marubeni.or.jp/>

全国の福祉施設や団体が必要とする設備、機器、車輛、家屋のほか、各種団体が行う調査・研究活動などの資金助成として、約3億円を助成します。

応募要件

- ・1件当たり上限300万円
- ・申込者(実施主体)は、原則として非営利の法人であること。
- ・※法人でない場合でも3年以上の継続的な活動実績があり、組織的な活動を行っている団体は対象とする
- ・助成決定から1年以内(2024年12月から2025年11月末)に実施が完了する予定であること。
- ・一般経費の補填でないこと。
- ・申込案件に、国や地方公共団体の公的補助が見込めないこと。また、他の民間機関からの助成と重複しないこと

応募方法 HPから申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、添付書類と共に事務局あてに郵送(※詳細はHP参照)

応募締切 6/30(日)(当日消印有効)

問合せ▶ 社会福祉法人 丸紅基金 〒100-8088 東京都千代田区大手町1-4-2
TEL/03-3282-7591/7592 FAX/03-3282-9541
Eメール mkikin@marubeni.com

情報 求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。



申し込み方法 専用フォームから情報をお寄せください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌[COMVO]編集室

天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618
Eメール ocvac@osaka-sishakyo.jp (担当:泉・竹澤)

※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。(例:2024年7月15日発行号(8・9月合併号)に掲載希望の場合は2024年5月末日まで)

おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み=掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

21 2024年度子ども文庫助成事業

公益財団法人 伊藤忠記念財団

<https://www.itc-zaidan.or.jp/summary/library/grant.html>

子どもたちに本を届けることを目的に読書啓発活動を行っている皆様を応援します。詳細はHPにアクセスいただき、応募(推薦)用紙に必要事項をご記入の上、下記提出先までお送りください。

助成内容

- ①子どもの本購入費助成(助成金30万円)
- ②病院・施設子ども読書活動費助成(助成金30万円)
- ③子どもの本100冊助成(当財団が選んだ児童図書セット)
- ④子ども文庫功労賞(個人の顕彰賞金・記念品)※他薦
- ⑤特別支援学校図書支援助成(助成金30万円)

応募締切 6/20(木)(消印有効)

提出先 公益財団法人 伊藤忠記念財団 助成事業部
〒107-0061 東京都港区北青山2-5-1

問合せ▶ 公益財団法人 伊藤忠記念財団 助成事業部
TEL/03-3497-2651 FAX/03-3470-3517
Eメール bs-book@itc-zaidan.or.jp

22 第55回(2024年度)博報賞

公益財団法人 博報堂教育財団

<https://www.hakuhodofoundation.or.jp/prize/>

児童教育現場の活性化と支援を目的とし、「ことば」の力の育成を核として、日々教育現場で尽力されている学校・団体・教育実践者の「波及効果が期待できる草の根的な活動と貢献」を顕彰しています。※詳細はHPを参照

応募要件

- ・日本国内での活動であり、日本在住の子どもを対象とした活動であること。
- ・主に6~15歳が中心の活動。特別支援教育については、主に4~18歳が活動の中心であること。
- ・活動開始から3年以上経過していること。
- ・※3年目の活動は審査対象外となります。
- ・過去に「博報賞」を受賞している場合、受賞時とは異なる活動内容であること
- ・※応募には、推薦資格を有する第三者による推薦が必須です。

応募方法 郵送・Web ※詳細はHPの「応募ページ」をご確認ください。

応募締切 6/20(木)※財団必着(不備等の修正を含む)、Webはアップロード完了

問合せ▶ 公益財団法人 博報堂教育財団 博報賞担当
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル14階
TEL/03-6206-6266(平日9:30~17:30)
Eメール hakuhoushou@hakuhodo.co.jp



『BohNo』の仲間たちは、みんな元気いっぱい!

私は、食のおいしさだけでなく魅力をもっと広めたいとの思いで

食のおいしさだけでは魅力が伝えない!

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

学生ボランティア活動

それゆけ!

がんばれ!

連載リレーコラム

No.41

立命館大学の食マネジメント学部に入りました。その背景は、高校生の頃に食が人の感情や社会課題と関わりが深く、食を見つめ直すことで多方面にプラスが生まれることに魅力を感じたからです。そんな私の想いとマッチしていたのが『BohNo』という主に食育活動を行う学生団体でした。学生団体『BohNo』は「食を通して若者の視野を拓ける」のコンセプトのもと、立命館大学の学生を中心に食育イベント・食品ロス削減・商品開発の3つの軸で活動しています。食育の分野では、食品ロス削減



立命館大学
食マネジメント学部
野田 菜花

プロフィール

所属団体: 学生団体『BohNo』、『Molt Flour』
趣味: アップサイクル商品の研究、ツーリング
学年: 3年

や食料自給率などの社会課題だけではなく、非常食や地域の特産品など身近な食べ物も話の切り口にイベントを開催しています。普段から、メンバーそれぞれが持つ興味分野や知識を掛け合わせてイベント作りを行っているので、参加者だけではなく、私たちの視野も広がっているように感じます。また、このような活動を通して人の温かみを感じたり、新しい出会いが生まれたりすることも食の良さだと思っています。これからも私たちにしかできないユニークな食育を通して、より多くの人が食のおいしさだけではない魅力を知り、アクションを起こすきっかけになれば嬉しいです。

学生コラムライター大募集!!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

対象 大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)
※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

内容 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただきます)

応募方法 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

お問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター
ボランティア・市民活動情報誌『COMVO』編集室
TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当: 泉・竹澤)

エントリーはこちらから▶



アンケートにご協力ください!

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見やご感想をお聞かせください。抽選で毎月3人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

- あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
- 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
- これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
- 今月号で良かった記事は何ページですか?その理由も教えてください。
- 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
- その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター
「読者アンケート 情報誌COMVO287号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2024(令和6)年6月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



大阪シティ信用金庫
社会貢献活動トピックス

「市民活動のためのクリック募金」へ協力

当金庫は大阪市の「市民活動のためのクリック募金」に協力し、大阪市区政推進基金への寄付を行いました。この募金は、大阪市のホームページに設置された協賛企業等のバナーのクリック回数に応じて、協賛企業等から一定の金額が寄付される仕組みで、大阪市の地域課題・社会課題の解決に取り組む市民活動団体の支援を目的としています。

3月22日には、感謝状贈呈式が行われ、協賛企業等が出席。当金庫からは畑中専務理事が出席し、大阪市の西山副市長から感謝状を拝受しました。



西山副市長から感謝状を拝受した
畑中専務理事(左)

ボランティア・市民活動情報誌
「COMVO」へ広告募集!

赤字が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

- 体裁・発行・部数
B5判 16頁(フルカラー)年10回発行
- 広告申し込み締切
発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申してください)
- 申込方法
下記まで問合せください



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)	
表4 1ページ	234,000円	240×170	
表4 1/2ページ	127,500円	117×170	
本文 1ページ	156,000円	257×182	240×170
本文 1/2ページ	85,000円	117×170	
本文 1/5ページ	38,000円	48×162	

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。
それ以外は別途製版料が必要です。
※掲載ページの指定はできません。
※内容により掲載をお断りする場合があります。

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

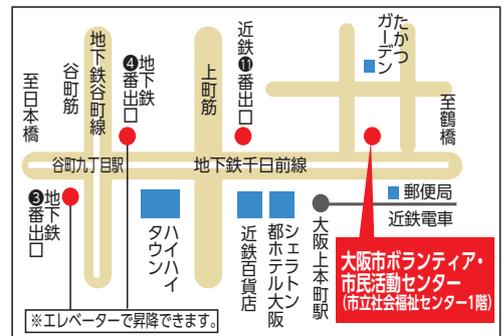
TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

- 開館時間:午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)
- 休館日:日・祝・国民の休日・年末年始 ●発行日:2024年5月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)
- 発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社 ●点訳協力:NPO法人ぼこ・あ・ぼこ

掲載写真についてはすべて、撮影・掲載の許可を得たものを使用しています。

●本誌は大阪府共同募金会の助成を受けて作成しています



企画・発行

「COMVO」主な設置・配布場所 ウェブサイトからもチェック可能! <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/comvo/>

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、フレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など

※OCVAC(大阪市ボランティア・市民活動センター)では、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

twitter <http://twitter.com/ocvic1998> Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvac>

森と人間、 どちらも元気にする方法が 見つかった。

インドネシア熱帯雨林再生プロジェクト。地元住民が生活のために伐採した森林の再生のためには、まず彼らの暮らしを支える経済貢献が必要でした。また、植林が進んだ後は、再生した森がまた伐採されないよう、地元小学校への啓発と支援も進めました。木を植える。そのシンプルな環境貢献のために一番必要になったのは、地元で暮らす人々との対話でした。森がよみがえり、人に笑顔が戻る。私たちの環境問題への取り組みは「対話」からはじまります。



インドネシアバリヤン第二小学校

対話するエコ。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

あなたが夢見る 未来を目指して

あなたが輝く明日を、ともに



三倉 菜奈

三倉 佳奈

※写真はイメージです

信頼で地域とつながる
City 大阪シティ信用金庫

本店 〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4 TEL(06)6201-2881(代表)